

上智大学グリーンフケア研究所公開講座

愛する人を なくす ということ

JR西日本財団寄付公開講座

第7期「悲嘆」について学ぶ

参加費無料
定員：先着300名

2010年10月1日より毎週金曜日 開講

事故や事件、災害、病気等により愛する人をなくした方の悲しみ、苦しみに共感し、ともに歩むために公開講座を開きます。

会場・時間 聖トマス大学 本館301教室 18:00～19:30

講座日程、参加申し込み方法等につきましては、裏面をご覧ください。

※全講座、手話通訳付きです。

※JR塚口駅および阪急園田駅からはシャトルバスを運行します。

第7期「悲嘆」について学ぶ

講座日程

開催時間は全講座 18:00~19:30です。

- ① 10月 1日(金) **高木慶子**
上智大学グリーンケア研究所所長
タイトル 人はなぜ、喪失体験をして苦しむのか
その1-出会いと別れ-
聖心女子大学文学部心理学科卒、上智大学大学院神学研究科博士前期課程修了。博士(宗教文化)。病氣や事故などで家族をなくされた遺族の方々を対象に、グリーンケア(悲嘆にある人々の心のケア)の実践に携わり、長年その第一人者として活躍。
- ② 10月 8日(金) **カール・ベッカー**
京都大学こころの未来研究センター教授
タイトル 死者から学べる死生観
ハワイ大学東西センターより東西比較哲学で修士号。数年にわたって京大等で研究し、博士号を取得。阪大、ハワイ大、筑波大等の教歴を経て、現在、京都大学こころの未来研究センター教授。ターミナルケア、スピリチュアルケア、生命倫理、医療倫理等の研究で国際的に活躍。
- ③ 10月15日(金) **日野原重明**
聖路加国際病院理事長・名誉院長
タイトル グリーンケアの予防の儀式
聖路加国際病院理事長・同名誉院長、聖路加看護大学名誉学長、財団法人ライフ・プランニング・センター理事長。日本音楽療法学会理事長。戦後、日本に米国医学教育を導入し、医学看護教育に尽力、終末医療の推進などに貢献した。1993年、日本で最初の独立型ホスピスを創設。
- ④ 10月22日(金) **森 一弘**
カトリック司教/真生会館理事長
タイトル チャレンジとしての悲しみ
上智大学文学部哲学科卒業。1967年ローマでカトリック司教になり、1985年司教を兼務。2000年まで、東京教区補佐司教を務める。その間、カトリック中央協議会事務局長を兼務。現在は、財団法人・真生会館の理事長として、講演活動、執筆活動、黙想指導などに携わる。
- ⑤ 10月29日(金) **西江雅之**
アジア・アフリカ図書館館長/日本サウンドスケープ協会会長
タイトル 自分たち、他者、この両者の関係
早稲田大学政経学部、同大学大学院芸術学修士課程修了。主に赤道以南のアフリカ諸国、カリブ海、インド洋諸島など多数の国々の僻地でフィールドワークに従事。文化人類学、言語学、現代芸術での活動が多く、数多くの作品が、高等学校国語教科書に採用されている。また、心を癒す多くの書籍や絵本で人々を勇気づけている。
- ⑥ 11月 5日(金) **河野義行**
著述家(松本サリン事件被害者)/NPOリカバリー・サポート・センター理事
タイトル 命あるかぎり
-松本サリン事件を超えて-
平成6年6月「松本サリン事件」に遭遇。自宅付近からサリンが発生していたことなどから、長野県警の自宅捜索を受け、マスコミからも容疑者扱いされる。翌年3月20日「地下鉄サリン事件」が発生。結果的にサリン事件への関与が否定された。「報道改革」「犯罪被害者の支援」などを訴え全国で講演活動をしている。
- ⑦ 11月12日(金) **今井信行**
医療法人社団薫風会理事長/宝塚市医師会理事
タイトル 住み慣れた地域で最期まで
金沢大学医学部卒業。大阪大学大学院(加齢医学講座)卒業。兵庫県宝塚市の内科診療所、内科一般の診療を心がけながら、「住み慣れた地域で最期まで」を目標に、診療所が地域のなかで果たせる役割に取り組む。地域の訪問看護ステーションや医療機関とも連携しながら、在宅医療、在宅ホスピスにも取り組んでいる。
- ⑧ 11月19日(金) **水谷 修**
花園大学客員教授(夜回り先生)
タイトル さらば、哀しみの青春
-夜回り先生からのメッセージ-
上智大学文学部哲学科卒業。夜回りを通して、多くの若者たちとふれあい、非行・心の病の問題に取り組んでいる。現場での経験をもとに、専門誌や新聞、雑誌への執筆、テレビ、ラジオなどへの出演、日本各地での講演などを通して、子どもたちが今直面している様々な問題について訴えている。
- ⑨ 11月26日(金) **清水哲郎**
東京大学大学院教授
タイトル 物語られるいのちの間の交流と断絶
東京大学理学部天文学科卒業。東京大学大学院人文社会系研究科教授。専門は哲学であり、家族の病をきっかけに医療現場に臨む哲学、そして臨床倫理に進む。現在、東京大学上廣死生学講座の特任教授として、広く死生学及び悲嘆についての講義を担当している。
- ⑩ 12月 3日(金) **石口房子**
広島YMCA訪問看護ステーションピース所長/広島・ホスピスケアをすすめる会代表
タイトル 在宅ホスピスにおけるグリーンケア
兵庫県立総合衛生学院保健学科卒業。1982年より訪問看護を開始し、在宅ホスピスケアの実践と普及を目指している。「広島・ホスピスケアをすすめる会」代表、YMCA訪問看護ステーション・ピース所長として、死に直面する人々のスピリチュアルケア及び遺族のケアを実践している。
- ⑪ 12月10日(金) **南 裕子**
近大姫路大学学長
タイトル ト라우マを生きぬくナースたち
米国UCSF大学院博士課程修了(DNSc)。高知女子大学、聖路加看護大学、兵庫県立看護大学で教鞭を取る。阪神・淡路大震災の経験に基づき、日本災害看護学会、世界災害看護学会を立ち上げ、日本看護協会会長、国際看護協会会長として災害看護の普及に努めた。
- ⑫ 12月17日(金) **関本雅子**
関本クリニック院長
タイトル ターミナルケアとグリーンケア
神戸大学医学部卒業。緩和ケア病棟に勤務後、2001年に関本クリニックを開院。緩和ケア、ターミナルケアにかかわる活動をしている。現在、兵庫・生と死を考える会理事、兵庫緩和ケア研究会世話人として活躍。
- ⑬ 1月21日(金) **栃本一三郎**
上智大学総合人間科学部長
タイトル 少し思考の間口を広げて
-尊厳の保持と市民の役割-
上智大学大学院博士後期課程(社会学)修了。国立社会保障人口問題研究所主任研究員から母校に。平成2年から4年間、厚労省の行政官として、福祉関係8法などの法改正やボランティアの中長期的振興策、福祉人材確保立案などに携わる。その後、参議院厚生労働委員調査室で立法スタッフとして法案審議を担当。中央官庁はもとより、自治体、福祉臨床の現場にもかかる異色で型破りの研究者。
- ⑭ 1月28日(金) **高木慶子**
上智大学グリーンケア研究所所長
タイトル 人はなぜ、喪失体験をして苦しむのか
その2-悲嘆ケアとスピリチュアルケア-
聖心女子大学文学部心理学科卒、上智大学大学院神学研究科博士前期課程修了。博士(宗教文化)。病氣や事故などで家族をなくされた遺族の方々を対象に、グリーンケア(悲嘆にある人々の心のケア)の実践に携わり、長年その第一人者として活躍。
- ⑮ 2月 4日(金) **蓮田太二**
医療法人聖粒会 慈恵病院理事長(ここのとりのゆりかご/赤ちゃんポスト)
タイトル いのちをつなぐ
熊本大学医学部卒業。医学博士。1978年医療法人聖粒会慈恵病院設立、理事長就任。2006年12月、新生児を匿名で受け入れる窓口「ここのとりのゆりかご(赤ちゃんポスト)」の設置を熊本市に申請し、2007年4月に許可を取得、5月より院内で運用を開始した。日本初の試みとして全国の注目を集める。

参加申し込み 8月16日(月)消印より申し込み開始

※8月15日以前のお申し込みは無効とさせていただきます。
※全講座一括してお申し込みとなります。
特定の日のみの受講はできません。

ハガキに住所、氏名、ふりがな、年齢、職業、電話番号を記載の上
〒661-8530 兵庫県尼崎市若王寺2-18-1 聖トマス大学内
上智大学グリーンケア研究所寄付公開講座宛に
お申し込みください。

※応募者の個人情報は、本講座の受付管理以外には
使用いたしません。

定員
先着300名

※同一日付の消印の申し込みが多数あった場合は、
抽選により別室モニター会場(401教室)を
ご案内させていただきます。
※全講座、手話通訳付です。
※都合により講師、日程等が変更となる場合があります。

**参加
無料**

会場(聖トマス大学)へのアクセス

〒661-8530 兵庫県尼崎市若王寺2-18-1

- 会場には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- JR塚口駅および阪急園田駅からはシャトルバスを運行します。



【JR塚口駅から会場までのご案内】

- シャトルバスのりばのご案内
- JR塚口駅改札を出て右に行き東口へ進んでください。
- 道路の突き当たり(タクシーのりばと表示)を右に行きスロープを進んでください。
- スロープを抜け左に行くくとシャトルバスのりばがあります。(賃借員がご案内しています。)
- 徒歩で会場に行かれる場合
- シャトルバスのりばの道をさらに進みなお進みください。会場までは約15分です。

【阪急園田駅から会場までのご案内】

- シャトルバスのりばのご案内
- 阪急園田駅南口から出て左に行くくと、市営バスのりばがあります。(賃借員がご案内しています。)
- 市営バスのりばを過ぎると、シャトルバスのりばがあります。(賃借員がご案内しています。)
- 市営バスのりばのご案内
- 阪急園田駅南口から出て左に行くくと、市営バスのりばがあります。
- 聖トマス大学方面のバスは、2番のりば(11系統)から発車します。
- 徒歩で会場に行かれる場合
- 阪急園田駅南口から出て、横断歩道を渡り、橋を渡り山崎新幹線橋をくぐってお進みください。会場までは約12分です。

【JR尼崎駅から市営バスをご利用される場合】

- JR尼崎駅改札を出て左に行き北口を出て、エレベーターまたは近くの階段で地上へ下ると、ロータリーがあります。
- 聖トマス大学方面のバスは、1番のりば(11系統)から発車します。
- ※JR尼崎駅からのシャトルバスはありません。

お問い合わせ先 **06-6491-7161**

お問い合わせ時間
平日10:00~16:00
8月13日~15日の間は夏休みのため休

主催 上智大学 寄付協力 JR西日本財団 協力 聖トマス大学